

(様式3)

合流式下水道緊急改善事業 事業評価シート

評価実施年月：平成29年3月

1. 対象事業	平塚市合流式下水道緊急改善事業				
2. 実施主体名称	平塚市				
3. 計画期間	平成17年度～平成25年度				
4. 対象事業の進捗状況	下記の内容について、当初計画通りに実施した。 【汚濁負荷量の削減】【公衆衛生上の安全確保】 貯留管の設置 馬入雨水貯留管 3,830 m ³ および松風町・久領堤貯留管 2,000 m ³ （浸水対策の機能も兼ねており、全体貯留量は10,650 m ³ ）を整備した。 浸透施設の設置 浸透ます 241 個及び浸透トレンチ 964m を設置済みである。 【夾雑物の削減】 雨水吐き室 2ヶ所にスクリーンを設置済みである。				
5. 目標の達成状況と達成の見通し	当初計画において予定した対策施設はすべて整備しており、代表的な降雨（1999年降雨：年間降雨量 1,219mm/年、総降雨回数 115回）において各種改善目標を達成している。				
	区分	評価指標	対策前	目標値	平成25年度末 （完了時点）
	汚濁負荷量の削減	削減達成率	0%	100%	178%
		放流汚濁負荷量	95.3 t/年	85.2 t/年	77.3 t/年
	公衆衛生上の安全確保	削減達成率	0%	100%	113%
		未処理放流回数	93 回/年	46 回/年	40 回/年
	夾雑物の削減	吐き口対策率	0%	100%	100%
		吐き口対策箇所数	0 箇所	2 箇所	2 箇所
6. 対象事業の整備効果の発現状況等	【汚濁負荷量の削減】 平成27年度のモニタリング降雨において、汚濁負荷量は対策前に対し合流区域全体で88.2%の削減効果が確認できた。また、対策後の状況を反映した年間シミュレーションの結果より、年間汚濁負荷量は77.3 t/年となっており、対策目標85.2 t/年を達成している状況である。 【公衆衛生上の安全確保】 未処理放流回数については、年間シミュレーションの結果から、貯留管の設置により40回/年に削減できており、半減目標46回/年を達成していた。 【夾雑物の削減】 きょう雑物の削減については、2箇所の雨水吐き室の機械式スクリーンを設置している。雨水吐き室でのカメラ撮影結果より、木片やビニール類などは公共用水域へ流出していないことを確認しており、整備効果が発現している。				
7. 事業の効率化に関する取り組み状況	・浸透施設の設置により雨水流出量を抑制し、貯留管対策容量が小さくなるよう取り組んでいる。				
8. 今後の方針	・事業の完了により、現状で改善目標は達成済みである。また、今後はより一層の改善を図るため、貯留・浸透施設の設置指導の継続を行い、雨水流出量抑制を図ることで放流負荷量の削減を目指す。				